

米国 農産物輸出の市場アクセス拡大を推進

[FreshFruitPortal](#) 2025年4月1日

農務長官は米国産農産物輸出の市場アクセス拡大に意欲

ブルック・ロリンズ米国農務長官は、市場を拡大し米国の農産物輸出を後押しするため、任期の最初の6カ月間に6つの国際市場を訪問する予定である。

米国農務省はリリースで、「前政権が国際市場でほとんど、またはまったく行動を起こさなかったため農産物貿易の赤字が500億ドル近くになっており、米国農務省(USDA)は、世界市場を多様化し、既存の市場を強化し、既存の貿易相手国に貿易に対する責任を果たさせるよう取り組んでいる」としている。

ロリンズ農務長官は、「トランプ大統領は、我が国の農場主や牧場主を支援している。農務省は、世界中の市場アクセスを拡大することに引き続き取り組んでいる。私は、アメリカ農業の恵みを売り込み、我が国の勤勉な農業生産者の繁栄を確保するために、海外に行くつもりである。米国産品の市場をより多く獲得するためのすべての取組みが検討のテーブル上にある」と述べた。

ブルック・ロリンズ氏は今年2月、米国最高裁判所のクラレンス・トーマス陪席判事に宣誓し、第33代アメリカ農務長官に就任した。

ターゲット市場

ロリンズ農務長官は今年、ベトナム、日本、インド、ペルー、ブラジル及び英国を訪問する予定である。農務省のその他の貿易使節団は、香港、ドミニカ共和国、台湾、コートジボワール、メキシコ等を訪問する。

インド: 米国は、インドにとって6番目に大きな農産物の供給国である。米国はインドに対して13億ドルの貿易赤字を抱えている。

ブラジル: 米国はブラジルに対して70億ドルの貿易赤字を抱えている。

英国: 英国は、米国にとって14番目に大きな農産物輸出市場である。英国に輸出する際、米国の生産者は不釣り合いに高い関税と関税割当の少なさに直面している。

日本: 日本は、トウモロコシ、牛肉、豚肉、小麦、米、大豆等、多くの主要な米国産品でトップ5の市場である。しかし、米国はこれらの品目の日本市場の多くで他国との競争に直面している。

ベトナム: ベトナムは米国にとって10番目に大きな農産物輸出市場である。米国はベトナムと貿易協定を結んでいないが、中国等の主要な競争相手国は協定を結んでいる。

ペルー: ペルーは、南米において米国にとって3番目に大きな農産物輸出市場であり、米国は依然としてペルーにとって2番目に大きな農産物供給国である。米国からペルーへの主要輸出農産物は、エタノール、乳製品、肉、ナッツ類、豆類等である。